

試験地設定

区分	自主課題
----	------

森林技術センター

(様式1)

開発課題	暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立 (ヤマザクラ等の新たな実証試験林(展示林等) の造成)				期 間	自H8年度 至H66年度	
開発目的	有用広葉樹(ヤマザクラ・イヌエンジュ等)及び特用樹の広葉樹適地 判定育成技術等の人工林施業体系化の確立を目的とし、施業実績や実証 データを収集し、暖温帯有用広葉樹等の展示林等として活用する。						
設 定	場 所	営 林 署	森 林 事 務 所	国 有 林	林 小 班		
		宮 崎	田 野	鱶 頭	76ほほ		
	数 量	面 積	数 量				
		1.00	ヤマザクラ イヌエンジュ ヤブキ	0:17 0:42 0:30 0:11	2 2 1	1.400 2200	本 // // //
設 定 年 月 日	平成9年3月末		終 了 年 月 日				
担 当	営 林 局	森 林 技 術 セ ン タ ー 業 務 第 一 係					
	営 林 署	課 係					
地況及び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壤 型	土 性	
	650	北 東	中	砂 岩	B _d B _{bd}	匍 行 土	
	深 度	堅 密 度				地 位	
						スギ	ヒノキ

林	林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹高	材積 ^(ha)	本 数
	相対照度	下層植生						
況	設 定 前 の 施 業 経 緯							
	全 体 計 画	1, 試験地設定(郷土広葉樹種) 2, 一部大苗による広葉樹植栽(ヤマザクラ等に施肥を行い肥大伸長を促進する) 3, 広葉樹造林地の下刈り方法の確立 4, 除伐(併行枝打・本数調整)等の作業適期確立 5, 密度管理による樹幹の形質推移 6, 成長量調査(根元径・胸高径はmm単位、樹高はcm単位で測定)						

- 記載要領
1. 区分は示、自主、任意課題別とする。
 2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、試験等の指導関係を記入する。

実 施 計 画				試験地設定図	林小班
1, 試験地設定					
植 栽 樹 種	面積 (畝)	本数 (本)	備 考		
ヤマザクラ	0.17	450			
イヌエンジュ	0.42	1,800			
センダン	0.30	900			
キリ	0.11	220	購入100本・山取120本		
計	1.00	3,270			
各樹種調査木40本設定 調査木：小L杭にて一連番号をもって根元に立て表示					
2, 地拵・植付				試験地位置図	
地拵：枝条散布 植付：平成9年2月～3月 大苗植付（ヤマザクラ） 普通苗植付（イヌエンジュ・センダン） 根株植付（キリ）					
3, 生長量調査（樹高・根元径・枝長の測定）					
樹高：cm単位 根元径：mm単位（地上5cm） 胸高径：mm単位 枝長：cm単位（東・西・南・北） 設定時調査：ヤマザクラ・イヌエンジュ・センダン（キリは根株のため省略） 調査時期：年度別計画表のとおり					
4, 試験地表示					
全体表示看板1基（1.5m×1.0m）					
5, 施肥					
肥料種類：鶏糞（黒潮） 施肥数量：1本当たり200g ²					

平成8年度実施内容

1, 試験地設定

植栽樹種	面積(%)	本数(本)	備考
ヤマザクラ	0.17	450	
イヌエンジュ	0.42	1,800	
センダン	0.30	900	
キリ	0.11	220	購入1000本・山取120本
計	1.00	3,270	

各樹種調査木40本設定

調査木：小L杭にて一連番号をもって根元に立て表示

2, 地拵・植付

地拵：枝条散布

植付：平成9年2月～3月

大苗植付(ヤマザクラ)

普通苗植付(イヌエンジュ・センダン)

根株植付(キリ)

3, 生長量調査(樹高・根元径・枝長の測定)

樹高：cm単位

根元径：mm単位(地上5cm)

胸高径：mm単位

枝長：cm単位(東・西・南・北)

設定時調査：ヤマザクラ・イヌエンジュ・センダン(キリは根株のため省略)

4, 試験地表示

全体表示看板1基(1.5m×1.0m)

考察

広葉樹の人工造林は、これまでの施業実績が比較的短く、かつ、実証データにも乏しいことから、これら技術の解明を図り、施業体系の確立を図る上で大変有意義だと考えられる。

当試験地は、常風が強いので風倒木、寒風害等の風による被害、また、野兔の被害も懸念される。

平成9年度実施内容

1, 下刈

ヤマザクラ：筋刈(林縁2列程度は野兔被害防除のため無下刈)

センダン：全刈

イヌエンジュ・キリ：筋刈

人工数：9,125人

つる切りを実施

人工数：13,750人

2, 生長量調査

	根元径(mm)	樹高(cm)	枝張(cm)
イヌエンジュ	15	108	7
ヤマザクラ	20	224	40
センダン	13	104	1
キリ(購入苗)	22	54	0
キリ(山取苗)	17	43	0

調査野帳別途保管

人工数：2,875人

3, 施肥

施肥種類：鶏糞(黒潮)

施肥数量：各樹種200g²/本

人工数：9,500人

考察

各樹種ともおおむね生育良好であるが、センダン・キリは、寒風害と思われる枯損が一部発生した。また、イヌエンジュ・ヤマザクラは、野兔の被害が発生した。特にイヌエンジュは、植栽本数の95%程度に食害が発生した。平成10年3月にわなによる野兔駆除を実施したが、十分な効果は期待できない。

平成10年4月に各樹種とも補植実施予定である。山取りのキリについては枯損が多かったため購入苗を補植予定である。

当試験地においては、下刈方法の検討等を含め、野兔被害防除の抜本的な対策が必要であると考える。

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

平成8年度実施内容

1, 試験地設定

植栽樹種	面積(畝)	本数(本)	備考
ヤマザクラ	0.17	450	
イヌエンジュ	0.42	1,800	
センダン	0.30	900	
キリ	0.11	220	購入100本・山取120本
計	1.00	3,270	

各樹種調査木40本設定

調査木: 小L杭にて一連番号をもって根元に立て表示

2, 地拵・植付

地拵: 枝条散布

植付: 平成9年2月~3月

大苗植付(ヤマザクラ)

普通苗植付(イヌエンジュ・センダン)

根株植付(キリ)

3, 生長量調査(樹高・根元径・枝長の測定)

樹高: cm単位

根元径: mm単位(地上5cm)

胸高径: mm単位

枝長: cm単位(東・西・南・北)

設定時調査: ヤマザクラ・イヌエンジュ・センダン(キリは根株のため省略)

4, 試験地表示

全体表示看板1基(1.5m×1.0m)

考察

広葉樹の人工造林は、これまでの施業実績が比較的短く、かつ、実証データにも乏しいことから、これら技術の解明を図り、施業体系の確立を図る上で大変有意義だと考えられる。

当試験地は、常風が強い風倒木、寒風害等の風による被害、また、野兎の被害も懸念される。

平成9年度実施内容

1, 下刈

ヤマザクラ: 筋刈(林縁2列程度は野兎被害防除対策のため無下刈)

センダン: 全刈

イヌエンジュ・キリ: 筋刈

面積: 1.00ha

人工数: 9,125人

つる切りを実施

人工数: 13,750人

2, 生長量調査

平成10年3月実施

径級・樹高・枝張り測定 別途野帳保管

3, 施肥

肥料種類: 鶏糞(黒潮)

施肥数量: 各樹種200g/本

考察

各樹種ともおおむね生育良好であるが、センダン・キリは、寒風害と思われる枯損が発生した。また、イヌエンジュ・ヤマザクラは、野兎食害が発生した。特にイヌエンジュは植栽本数の95%程度に食害が発生した。3月にわなによる野兎駆除を実施したが、効果は期待できない。

平成10年4月に各樹種とも補植を実施予定している。

当試験地においては、野兎被害の抜本的な防除対策が必要であると考えられる。

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

平成10年度実施内容

1, 下刈

ヤマザクラ：筋刈（林縁2列程度は野兎被害防除対策のため無下刈）

センダン：全刈

イヌエンジュ・キリ：筋刈

面積：1.00ha

人工数：14.375人

つる切りを実施

人工数：4.625人

2, 生長量調査

平成11年3月実施

径級・樹高・枝張り測定 別途野帳保管

3, 施肥

肥料種類：鶏糞（黒潮）

施肥数量：各樹種200g/本

4, 補植

ヤマザクラ・キリ・センダンの補植を実施

本数：230本 人工数：7.500人

考察

各樹種ともおおむね生育良好であるが、イヌエンジュ・ヤマザクラは、野兎の被害が発生した。特にイヌエンジュは全木被害の状況である。3月にわなによる野兎駆除を実施したが、効果は多く期待できない。イヌエンジュについては野兎被害防除の抜本的な対策が必要であり今回の補植は実施しなかった。

平成11年度実施内容

1, 下刈

ヤマザクラ：筋刈（林縁2列程度は野兎被害防除対策のため無下刈）

センダン・キリ：筋刈

ユリノキ・ミズメ：全刈

面積：1.00ha

人工数：13.125人

つる切りを実施

人工数：1.375人

2, 生長量調査

平成11年12月実施

径級・樹高・枝張り測定 別途野帳保管

3, 補植

ヤマザクラ・ミズメ・ユリノキの補植を実施

本数：1,630本 人工数：25.500人

考察

センダン・ヤマザクラは生育良好である。キリについては、コウモリガ及び寒風害の被害が発生し生育不良及び枯損が発生している。

ユリノキ・ミズメの補植時に野兎被害対策として、香水風船（グリーンコップ）をホッチキス2針止めし根元に巻き付けたが忌避効果が現れている。

- 記載要領
- 1 調査結果及び考察を記入する。
 - 2 状況写真は別途整理する。

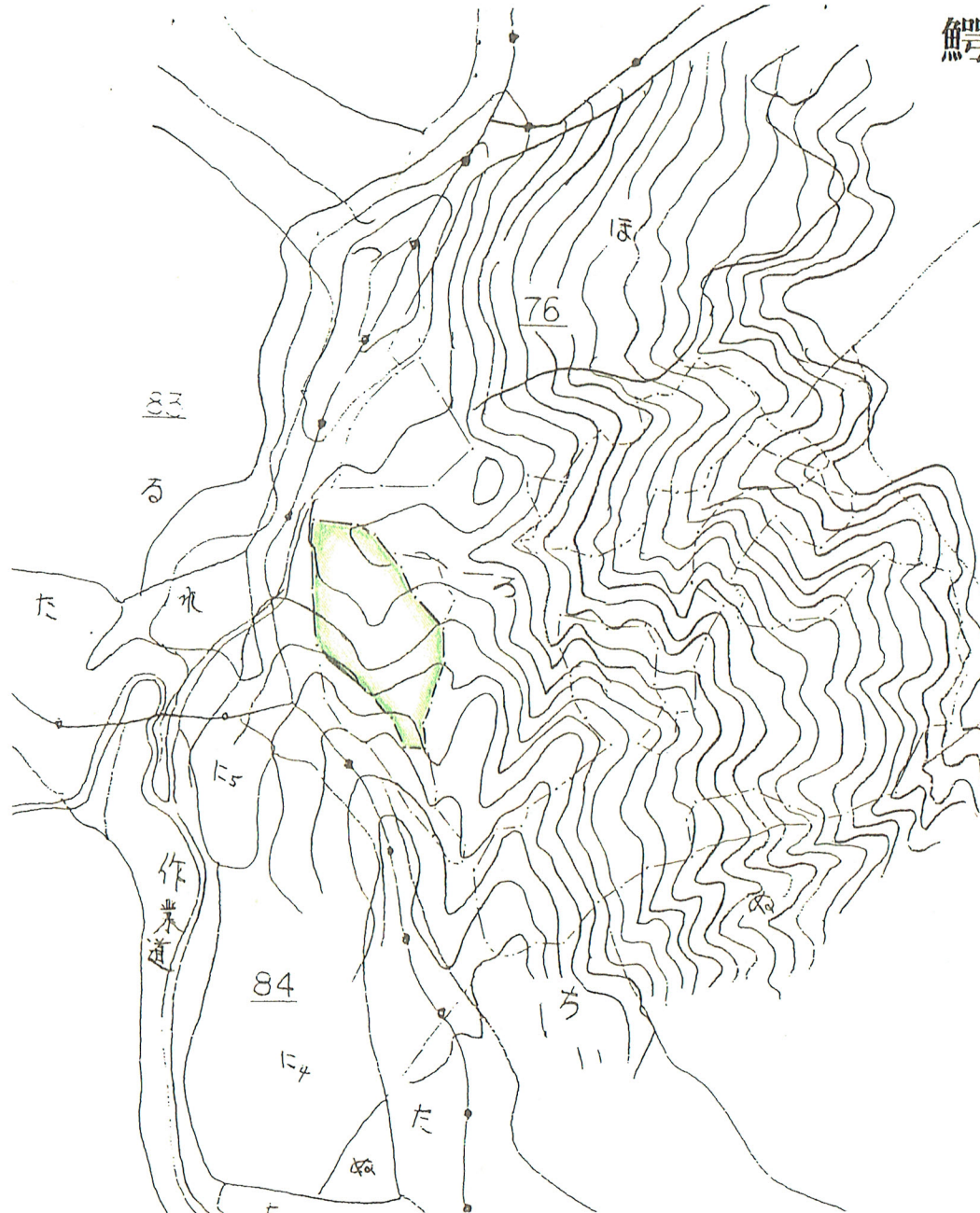
試験地位置図

暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立

鰐頭国有林76ほほ₁林小班

面積 1.00ha

試験地



試験地設定図

暖温帯有用広葉樹人工林施業体系の確立

鰐頭国有林76ほほ₁林小班

